

「世界を知ろう。未来を創ろう。」

| | | | |
|-----------------|-------|------------------|------------------|
| 氏名 | 横倉 由佳 | 学校名 | 茨城県 日立市立日高中学校 |
| 担当教科等 | 国語 | 対象学年(人数) | 中学3年(102名) |
| 実践年月日もしくは期間(時数) | | 2022年9月～12月(7時間) | |

【実践概要】


| | | |
|---|--|---|
| 1. 実践する教科・領域：国語、総合的な学習の時間 | | |
| 2. 単元(活動)名：持続可能な社会を目指して | | |
| 3. 授業テーマ(タイトル)と単元目標 | | |
| 授業テーマ：「世界を知ろう。未来を創ろう。」 | | |
| 単元目標： | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 地球規模の課題と自己を結び付けて考え、SDGs の観点から自己と向き合い、自ら考え行動する力を養う。 ・ 自己の進路や生き方を考え、進路選択のための計画を立てることができる。 ・ 様々な体験での学びを、自己の生き方に対する考えや社会生活に必要な能力等の視点からまとめ、進路選択に生かすことができる。 | | |
| 関連する学習指導要領上の目標： | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。(国語科指導要領 目標より) ・ 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。(総合的な学習の時間指導要領 目標より) | | |
| 4. 単元の評価規準 | ①知識及び技能 | 地球規模の課題と自己を結び付けて考え、SDGs の観点から自己と向き合い、自ら考え行動しようとしている。 |
| | ②思考力、判断力、表現力等 | 自己の進路や生き方を考え、進路選択のための計画を立てることができる。 |
| | ③学びに向かう力、人間性等 | 様々な体験での学びを、自己の生き方に対する考えや社会生活に必要な能力等の視点からまとめ、進路選択に生かすことができる。 |
| 5. 単元設定の理由・単元の意義 (生徒観、教材観、指導観) | <p>【単元設定の理由】 SDGs は、「持続可能な社会」のために私たちが達成すべき 17 分野の目標と 169 のターゲットを具体的に示している。環境、経済、社会の課題はそれぞれ個別に存在するのではなく、相互に深く関わっている。これからの時代を担う生徒たちには、それらを理解し、これらの世界規模な課題を自分ごととして捉えていく姿勢が必要である。そして、それらの課題は実は身近な生活にも深くかかわっていることを知り、今後自分にできることは何かを考え、行動していくことができるようになってほしいと思い、本単元を設定した。</p> <p>【単元の意義】 本単元では、担当する国語と、総合的な学習の時間におけるキャリア教育の視点から、教科横断的に授業を展開する。地球規模の課題と自己を結び付けて考え、SDGs の観点から自己と向き合い、自ら考え行動する力を養うことを目標に、中学校卒業後の自分の生き方について考えさせたい。</p> <p>【児童／生徒観】 生徒は、中学3年生という進路選択の時を迎え、上級学校への進学意識はあるものの、その先の自分の姿を思い描くことは難しい。今年度私は進路指導主事として、生徒たちに、高校卒業後に自分はどう生きていきたいかまで考えてみてほしいと思った。近い将来、「持続可能な社会の創り手」となっていくべき生徒たちに対して、SDGs の視点も踏まえて、自己の生き方に対する考えや社会生活に必要な能力等について改めて考える機会を設け</p> | |

ることで、漠然と思い描いている中学校卒業後の自分の姿が、より明確なものになるのではないかと期待している。

【指導観】

教師国内研修で得た情報や教材、様々な人たちから学んだことを生徒に伝えていくようにしたい。企業の取組を知り、SDGsに関して提供されている教材や JICA の写真、映像、ゲストティーチャー等を活用することで、生徒が世界の課題を身近に感じられるようにしたいと考えた。その上で、自分の生活に結び付け、今後の生き方についても考えられるよう、計画していく。

6. 単元計画(全7時間)

| 時 | 小単元名 | 学習のねらい | 学習活動 | 資料など |
|--------|--------------------------|---|--|--|
| 1 | 総合 「SDGs って なんだろう」 | 新聞を読むことで 情報リテラシーを 培い、社会の課題を “自分ごと”として 捉える視点をもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> SDGs について知っていることを話し 合い、共有する。 「中高生のための朝日 SDGs ジャーナル」 を読む。 各自で記事に関連すると思う付箋を 選んで、「つぶやき」(感想や考え)を書 く。 グループで話し合いながら、記事の横 に付箋を貼っていき、感想や考えを共 有する。  <p>【新聞について話し合う様子】</p> | <ul style="list-style-type: none"> 朝日新聞「中高生の ための朝日 SDGs ジャ ーナル」 朝日新聞「ペタッと SDGs 新聞学習ふせ ん」  <p>【「ペタッと SDGs」】</p> |
| 2 3 | 国語 「恩返しの井 戸を掘る」 | 水の大切さや国 際社会の共助の 精神について考 える。 | <ul style="list-style-type: none"> 教科書の本文を読む。 JICA、授業で使えるショート映像集 「世界につながる教室」「水と世界」 「国際協力」を見て、SDGs 目標6「だ れもが安全な水を、安い値段で利用 できるようにする。」について考え、話 し合う。  <p>【東京書籍ホームページより】</p> | <ul style="list-style-type: none"> 教科書(東京書籍3 年) JICA 授業で使えるシ ョート映像集「世界に つながる教室」 |
| 4 | 総合 世界に目を 向けよう | 発展途上国の課 題を知り、自分ご ととして考えられ るようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> JICA ホームページの写真「世界の課 題を考える写真」を使って、フォトラン ゲージをする。 写真を選択してシンプルプレゼンを作り、 話し合いを通して理解を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> JICA ホームページの 写真「世界の課題を 考える写真」 生徒用タブレット端末 「スクイメニュー」の 「シンプルプレゼン」 |

| | | | | |
|---------|-------------------|------------------------------------|---|--|
| | | |  <p>【生徒が作ったシンプルプレゼンの例】</p> | |
| 5 6 | 国語 批評文を書く | 世界の課題について観察・分析し、説得力のある批評文を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・前時で作ったシンプルプレゼンを使って、批評文を書く。 ・できあがった批評文を読み合い、発展途上国の課題について再度話し合う。  <p>【話し合いをしている様子】</p> | 生徒作文【資料1】 |
| 7 本時 | 総合 「未来予想図を創ろう」 | 自己の進路や生き方を考え、進路選択のための計画を立てることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の未来予想図について考える。 ・ゲストティーチャー経歴や人生の分岐点について話を聞く。 ・ワークシートで自分について振り返る。  <p>【ゲストティーチャーによる授業】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート【資料2】 ・ゲストティーチャー |

| 7. 本時の展開(7時間目) | | | |
|--|--|---|--------------------------|
| 本時のねらい: 自己の進路や生き方を考え、進路選択のための計画を立てることができる。 | | | |
| 過程・時間 | 教員の働きかけ・発問および学習活動・指導形態 | 指導上の留意点(支援) | 資料(教材) |
| 導入 (5分) | <ol style="list-style-type: none"> 1 教師のたどった経歴を知り、自分の未来予想図について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・教師は、簡単にこれまでの経歴等を紹介する。 ・現在抱いている夢や希望を基に、各自の未来予想図を考えてみる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・この時、まだ具体的に考えられなくてもいいことを伝え、本時の授業で考えるヒントを得られるよう声掛けをする。 | |
| 展開 (30分) | <ol style="list-style-type: none"> 2 ゲストティーチャーの自己紹介を聞く。 3 ゲストティーチャーのたどった経歴を知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・直井さんの行動力や活躍した場所を知り、自己の生き方についても考えられるようにする。その際、それぞれの生き方を選択した人の思いを捉え、どちらか一方が優れている | ゲストティーチャー パワーポイント |

| | | | |
|----------------------|--|--|-------------------------|
| <p>まとめ (15分)</p> | <p>4 ゲストティーチャーの人生の分岐点について聞く。</p> <p>5 ワークシートで自分について振り返る。</p> | <p>ということではないことに留意させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や参加したきっかけ、異文化紹介等を聞きながら、将来について決めていくために必要なことは何か考えられるようにする。 ・進路を考えるには、現在の自分を深く知ることが大切であることを伝える。 ・自分を知るためのワークシートを書くことによって、それが未来予想図につながることを知らせる。 ・総合の時間に同時進行で制作している「自分史」とも関連して考えられるようにする。 | <p>ワークシート 【資料2】</p> |
|----------------------|--|--|-------------------------|

8. 評価規準に基づく本時の評価方法

○評価規準 自己の進路や生き方を考え、進路選択のための計画を立てることができたか。

【おおむね満足できる状況】

自己の進路や生き方を考え、自己を深く知ることができた。

【十分満足できる状況】

自己の進路や生き方を考え、進路選択のための計画を立てることができた。

【おおむね満足できる状況に達していない生徒への手立て】

友達との話し合いを通して、「友達に感謝されたこと」「得意なこと」など、自分が見えていない自分について指摘してもらうことで、ワークシートの書きやすい項目から埋めてみるよう支援する。

○評価方法

- ・授業中の観察
- ・ワークシート

9. 学習方法及び外部との連携

・朝日新聞による「中高生のための朝日 SDGs ジャーナル」という教材があることを知り、朝日新聞に申し込みをした。生徒数分の新聞には、SDGs に関するインタビューや解説、企業・団体の取組事例と、実際の朝日新聞記事の切り抜きが載っている。それを読み、SDGs 学習用ふせん「ベタッとSDGs」(朝日新聞社 CSR 推進部制作)を貼り、友達と話し合う活動を通じて、生徒たちは「ニュースを SDGs の視点で読む」という体験をすることができる。グループごとの新聞を学年のフロアに掲示することで、多面的な見方・考え方につながるようにした。



【昇降口横に展示し、全校生徒に見えるようにした】



【学年のフロアにも掲示】

・JICA の「教師国内研修」に参加して、様々な資料を紹介していただいた中の、授業で使えるショート映像集(アクティブラーニング教材)「世界につながる教室」を授業で紹介した。今回の国語の教材はタンザニアに井戸を掘る話だが、安心安全な水を得られないアフリカの現状を生徒に知らせるために、この映像教材は大変有効だった。「水と世界」についての関連教材だったが、生徒たちからは他も見たいとの要望があり、「国際協力」「難民」「イスラム」「教育」「人間の安全保障」のテーマについても紹介した。



【世界につながる教室】

・前述の映像の反応が良かったので、さらにいろいろな発展途上国の様子を知らせたいと考えた。JICA のホームページから、「JICA 地球ひろば」の先生・生徒のお役立ちサイトの中に、「世界の課題を考える写真」のコーナーがあった。地球ひろばで実施してきたグローバル教育コンクール・写真部門の、世界が抱える課題や国際協力、開発途上国の現状を伝える写真とメッセージが掲載されていた。これらを使ってフォトランゲージやシンプルプレゼン作りをしようと考えたが、PDF で掲載されていたため、JICA 地球ひろばに問い合わせ、授業の趣旨を説明したところ、Word 形式で写真を提供してくださった。そのおかげで生徒たちは、自分で選んだ写真を自由に組み合わせてシンプルプレゼンを作り、批評文に発展させることができた。発展途上国の子どもたちの現状を自分ごととして捉え、考える授業を行うことができた。



（2013 年インド、パンゴール撮影 金子由貴）
子どもは切り分けお石の塵を掃除していた。インド農村の家の近くにあった場所。毎日ここを通りかかると、朝から晩まで同じ仕事をしていた。



【「世界の課題を考える写真」】

・今回 JICA の教師国内研修に参加する中で、ぜひ海外派遣の経験のある方にお話を伺いたいと考えた。それを JICA の方に相談したところ「2022 年度 JICA 筑波 国際協力出前講座（日本人講師）」を紹介してくださった。今回ゲストティーチャーをお願いした直井道さんは、小学校教諭の経験や JICA 海外協力隊員としてウガンダ共和国への派遣体験もありつつ、現在は日立市にコーヒーショップ「GAMEO COFFEE COMPANY」を開いている。こういった経歴を通して、進路に悩んでいる中学3年生たちに、キャリア教育の視点からアドバイスをいただきたいと考え、お招きして授業を実践していただいた。



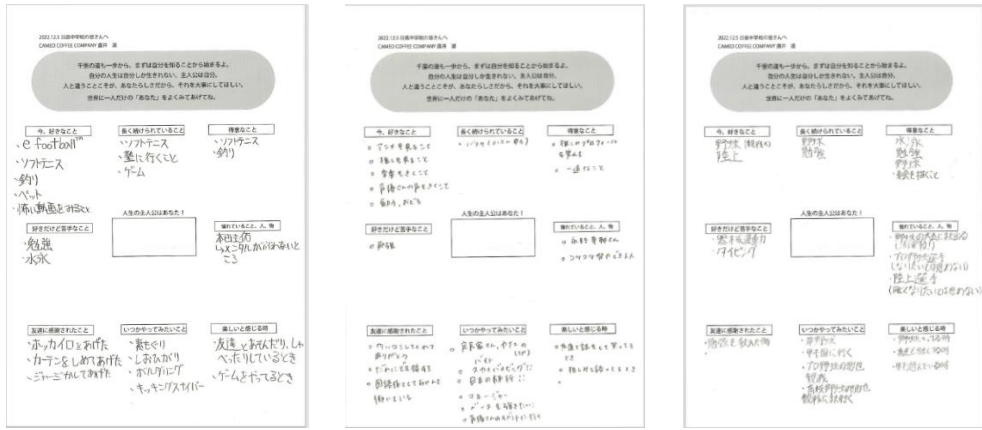
【直井道さんの授業】

10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組

- ・研修後、その都度学んだ内容を生徒にフィードバックした。写真等を見せながら体験したことを伝えることで、生徒も SDGs や JICA の取組に高い関心を示すようになった。
- ・いただいた資料を校内に掲示し、冊子等は図書室で保管することで全校生徒や職員も自由に閲覧できるようにした。
- ・公開授業には校内や、教師国内研修で一緒に学んでいる先生にも参観していただき、感想や助言が大変励みになった。

【自己評価】

| | |
|------------|---|
| 11. 苦勞した点 | <ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌が国際理解教育の担当ではなかったため、学校のカリキュラムの中でどう実践していくか、実践の場をどう設けていくか悩んだことがあった。学年の先生方の協力で時間をもらったり、掲示の場を作らせていただけたりしたことなどでだいぶ助けられたと感じている。 ・担当する国語科の教材にも SDGs に関するものが増えているので、年間指導計画を変更しながら実践に取り組んだ。授業時間の確保が難しいと感じることがあった。 |
| 12. 改善点 | <ul style="list-style-type: none"> ・前述したように、年間指導計画の見直しや、国際理解教育や総合的な学習の時間等の担当との打ち合わせをもっと早くから行うとよかったと感じた。教師国内研修で研修している内容を、職員に共通理解を図ることで、もっと多角的・多面的な視野で実践できるのではないと思う。 |
| 13. 成果が出た点 | <ul style="list-style-type: none"> ・JICA や朝日新聞の教材を使ったり、ゲストティーチャーをお招きしたりしたので、生徒は活動しやすく、自分ごととして捉えやすかったと思う。教材を一から全部作っていくのは大変なので、そういった利用の方法を周知しておく、他教科の協力も得られるため、教科横断的な指導の実践につながるのではないと思った。 |

| | |
|--|--|
| <p>14. 学びの軌跡(児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)</p> | <p>【生徒の感想から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JICA ってなんだろうと思っていただけ、先生の話や写真で、どんな活動をしているのかわかってきた。毎回写真を見るのが楽しみになった。 ・先生が夏休みに行ったアジア学院の話が面白かった。そんなところがあるなんて知らなかった。国外にはすぐに行けないけど、近くにあるなら行ってみたいと思った。 ・先生がブラジル人学校で習字を教えると聞いて、どういところなんだろうと思ったが、行った後の話で同じように勉強しているんだと身近に感じた。 ・「恩返し井戸を掘る」の授業の時、アフリカの水問題の映像を見られたことが分かりやすかった。直井さんの話にも水のことが出てきて、深刻な問題だと分かったので、自分ができること(節水や募金等)をしようと思った。 ・道徳の教材に、夜間学校の話が出てきて、先生が茨城県内にも一つあって、授業をしてきた話を思い出した。その学校にも高齢になっても勉強している人がいると聞いていたので、水海道の夜間中学校と道徳の話結び付けて考えることができ、身近な問題だと感じた。 ・ゲストティーチャーが日立の方で、近くにアフリカに行っていた人がいたことに驚いた。「自分を知ること」の大切さや、夢はいくつももっていていいという言葉が胸に残った。 ・SDGs については知っていたつもりだったが、課題は毎日変わっていくし、自分も考え方が変わっていくので、その度に考えたり実行したりしていきたいと思った。 <p>【ワークシートの記述】</p>  |
| <p>15. 授業者による自由記述</p> | <p>教師国内研修に参加させていただいて、たくさんのお会いや体験があった。研修の初めから、なぜこの研修に参加するのかを考え、学んだ内容をしっかり生徒に伝えていこうと思っていた。発展途上国や世界といった広い視野だけでなく、身近な SDGs の問題、知らずにいた県内・近県の取組を知り、体験できたことが自分自身にとっても一番大きな変容につながったと感じている。</p> <p>今回経験したことを教育の現場にどう生かしていくか、今後もしっかり考えていきたいと思う。何より、私の学びを生徒が受け止めてくれたことが大きな励みとなった。国際理解教育や SDGs の問題、またキャリア教育等、さらに深い学びにつなげて、実践していきたいと思っている。</p> |

参考資料:

- ・中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 国語編 (文部科学省)
- ・中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 総合的な学習の時間編 (文部科学省)
- ・朝日新聞デジタル「SDGs ACTION！」 <https://www.asahi.com/sdgs>
- ・「世界の課題を考える写真」(JICA 地球ひろば) <https://www.jica.go.jp/hiroba>
- ・「2022 年度 JICA 筑波 国際協力出前講座(日本人講師)」
<https://www.jica.go.jp/tsukuba/enterprise/kaiatsu/demae/index.html>
- ・東京書籍ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp>

【資料2】ワークシート(直井道氏作成)

2022.12.5 日高中学校の皆さんへ
CAMEO COFFEE COMPANY 直井 道

千里の道も一歩から。まずは自分を知ることから始まるよ。
自分の人生は自分しか生きれない。主人公は自分。
人と違うことこそが、あなたらしさだから、それを大事にしてほしい。
世界に一人だけの「あなた」をよくみてあげてね。

今、好きなこと

長く続けられていること

得意なこと

人生の主人公はあなた！

好きだけど苦手なこと

憧れていること、人、物

友達に感謝されたこと

いつかやってみたいこと

楽しいと感じる時